

ホップ ステップ ワーク

『目標』をもつということ

高等部教頭 米納直美

四月、新しい学年になり、まず初めに担任の先生と「どんな自分になりたいか」「そのためにどんなことを頑張りたいか」について意思確認をして、『目標』を設定するところから学校生活が始まります。なぜ『目標』を設定するのか...『目標』を定めることにより、学校生活を営む上で自分が具体的に何をすべきかが明確になりそれは、生活の指標となります。そして、『目標』達成に向けて日々努力することは、褒めてもらったり時には励ましてもらったりしながら達成感や充実感を得ることにつながります。昨夏行われた進路行事の一つ「先輩に学ぶ進路学習会」では、現在社会人となった先輩（卒業生）が、今でも『目標』をもって働いているという経験談を伝えてくれました。その話をしている卒業生の生き生きとした表情は、今でも強く印象に残っています。学校を卒業しても、『目標』をもつことは、働くことへのモチベーションを高めてくれる原動力になっていると感じました。自立と社会参加を目指して取り組む学習は、小学部段階からすでに始まっています。『目標』達成に向けての学習過程で時にはうまくいかないこともあるかもしれないけれど、諦めずに児童生徒一人一人が「なりたい自分」に近づけるよう、生き生きとした表情で学校生活が送れるよう、ご家庭や関係機関とも連携しながら、これからも支援、応援を続けていきたいと思っています。

卒業を迎え、卒業学年の皆さんはそれぞれの進路に向かって歩み始めます。また、在校生の皆さんは次の学年へとステップアップを図ります。これまで学校生活で培った経験を生かし、新たな『目標』をもって未来を切り拓いていってください。保護者の皆様には、これまで温かくお子様を見守ってくださり感謝申し上げます。これからもご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



令和6年度 高等部卒業生の進路先

昨年、障害ある方が地域で希望する生活を送るために、障害福祉サービスの質の確保と向上を図るための報酬改定が行われました。この改定は、就労継続支援A型事業所の運営には厳しい内容で、全国で300カ所以上の事業所が閉鎖、働いていた障害者が5000人以上解雇されたという報道がありました。高岡圏域でも、閉鎖又はB型事業所へ移行した事業所がいくつかあり、本校の生徒の進路選択にも大きな影響がありました。

進路先を選ぶ際には、作業内容に加え事業所の方針や雰囲気や本人に合っているかがポイントになります。支援者の関わり方や利用者との相性も大切です。キャリア教育推進委員会では、外部委員から「卒業後も成長できる事業所かどうか」「地域啓発に取り組み、地域と関わりがある事業所かどうか」も進路先を選ぶポイントの一つだと助言をいただきました。

今年度の卒業生の中には、普段から地域の方と交流し、行事に参加したり、地域のバス停を除雪したりと、地域に根差して生活を送っている生徒もいます。

地域の中で「暮らす」「働く」中で、すてきな社会人を目指してさらに成長してくれることを期待しています。

卒業生17名

- ・就職 5名
- ・障害福祉サービス利用 11名
- ・その他 1名

- ・ウエルシアオアシス株式会社
(ウエルシア高岡上北島店、射水本開発店)
- ・株式会社メフォス(ケアホームみどり)
- ・特別養護老人ホーム すわ苑
- ・有限会社 荒木商会



- ・いみず苑なごみ
- ・いみず苑かがやき
- ・いみず苑ひだまり
- ・Beeこぼん
- ・おはな
- ・高岡市障害者福祉センター
- ・ふらっと
- ・ひらすま

その他1名

就職 5名



就労継続支援A型 1名

・あかり



就労継続支援B型 4名

- ・志貴野苑
- ・ガッツプラス
- ・オアシス高岡
- ・b-らいふ・きゃんぱす



クッキーの袋詰め



部品の袋詰め



タオル畳み



中学部2年生の生活単元学習「いろいろな仕事」では、「仕事について知る」「仕事を体験する」の二つを柱として学習に取り組みました。

前半の「仕事について知る」では、8月に行われた職場体験や高等部の就業体験先等を参考にして、学校卒業後にはどんな仕事があるのか調べる学習をしました。

後半の「仕事を体験する」では、「タオル畳み」「クッキーの袋詰め」「ネジの袋詰め」の仕事に分かれて、それぞれの仕事を体験しました。仕事の体験では、その日の仕事量に応じて給料がもらえ、最終日には、学年集会でその給料を使って、ゲーム大会をしてお菓子等を買って楽しみました。

生徒たちからは、「目標数以上の仕事ができてよかった」「仕事をしたら給料がもらえてうれしかった」などの声が聞かれました。

この単元を通じて、働くことの大変さや働くことの喜びを感じることができ、働くために必要なことをそれぞれが考えるよい体験になりました。

就労支援セミナー 1月28日(火)

富山労働局主催のセミナーを2年に一度、実施しています。就労を目指す高等部1、2年生の生徒と保護者が働くために必要なことについて聴講しました。

①地域における障害者雇用の現状

富山労働局職業政策課 職業対策課長補佐 山崎 一昌 氏
富山労働局職業対策課 就職支援コーディネーター 端 久美 氏

②「働くために大切なこと」

高岡障害者就業・生活支援センター 就業支援ワーカー 牧野 優子 氏

③特別支援学校就労支援セミナー

障害者就労アドバイザー
アルビスクリーンサポート株式会社 代表取締役社長 安田 泰弘 氏



「働くために大切なこと」

職業準備性ピラミッド

- ①健康管理……食事、睡眠、入浴・歯みがき(清潔に!)
- ②日常生活管理……身だしなみ、時間を守る、お金の管理
- ③対人技能……感情のコントロール、質問、相談、謝罪ができる
- ④基本的労働習慣……ほうれんそう、約束を守る、体力と集中力
- ⑤職業適性……仕事への適正・持続性、適切な知識・技能

今からできること

- ①返事やあいさつをしましょう。
- ②報告、連絡をしましょう。
- ③身だしなみに気を付けましょう。
- ④学校や家では積極的に活動しましょう。



「特別支援学校就労支援セミナー」

☆働く目的……お金・生活のため、人とのつながり、自己成長・自立のため

★働く場所……①一般企業 ②就労支援A型事業所 ③就労支援B型事業所 ほか就労移行支援など

☆仕事のほうれんそう

- ①報告……業務の進み具合を伝える
- ②連絡……遅刻、欠席を含め知ってほしい情報を確実に伝える
- ③相談……業務を円滑に行うために、他の人の意見を求める

★今日からできる、働く準備

- ①規則正しい生活 ②元氣な挨拶 ③家のお手伝いを積極的に行う

